

懇話会の進め方

- ① 設立目的
- ② 検討内容
- ③ 進め方
- ④ スケジュール

① 設立目的

これまで、福井県と福井市は、平成25年3月に県都のまちづくりの指針となる「県都デザイン戦略」を策定し、福井国体（H30.9）や北陸新幹線福井・敦賀開業（R5.3）を目標年次として福井駅周辺の都市基盤を整えてきた。

福井城址周辺においては、山里口御門の復元や中央公園の再整備、城址周辺道路の整備などを進め、歴史を象徴し人が集まる空間の形成を図ってきた。

今後、県都の魅力をより一層高めていくためには、福井城址の磨き上げが重要となる。

このため、本懇話会においては、北陸新幹線大阪延伸を見据え、将来の福井城址に求められる機能をとりとまとめ、具体的活用策について提案する。



山里口御門（H30.3完成）



福井市中央公園（H30.8完成）



城址周辺道路（南側）（H30.9完成）

②検討内容

1. 将来、県庁舎等が移転した場合を想定し、福井城址（本丸および内堀）に求められる機能（歴史、文化、広場等）をとりまとめ、具体的活用策の将来イメージを提示
2. 県庁舎等がある状態での福井城址の短期整備の可能性を検討
3. 養浩館庭園や北の庄城址を含む城址周辺の活用策を検討



(懇話会における福井城址の検討エリア)



(福井城址周辺の歴史資源)

③進め方

地区住民等との対話

- ・ 福井城址に求められる機能について、福井市まちなか地区を対象とした意見交換会および県民を対象としたワークショップを行い、地区住民等の意見を聴取
- ・ 懇話会において、これまでの提言・要望団体から意見を聴取

県庁舎移転後（想定）の活用策

○城址に求められる機能の検討

- ・ 福井城址に求められる機能について、城址の特徴や地区住民等の意見、関連計画などを踏まえ検討し、とりまとめ

○具体的活用策の検討

- ・ 求められる機能から導かれる具体的活用策の将来イメージを提示

県庁舎等がある状態での活用策

○短期整備の可能性検討

- ・ 県庁舎等がある状態での短期整備の可能性を検討

○城址周辺との連携

- ・ 養浩館庭園や北の庄城址を含む城址周辺の活用策を検討（まちなか観光等の推進）

④スケジュール

	令和2年度									令和3年度			
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4~6	7~9	10~12	1~3
懇話会			● 第1回 (9/3) [・ 懇話会の進め方 ・ 城址の特徴 ・ これまでの提言等		● 第2回 (11/17) [・ 意見交換会等結果共有 ・ ゲストスピーカーからの提案等		● 第3回 ・ 求められる機能検討 ・ 具体的活用策検討				● 第4回 [・ 具体的活用策の将来イメージを提示 ・ 短期整備の可能性を検討など	● 第5回 ・ 福井城址活用方策をとりまとめ (短期整備含む)	☆提言
意見交換会等			● 9/25 意見交換会	● 10/10、17 ワークショップ									

※現時点の見込み